

確認テスト

所属 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

【事例】

Aさん、70代、男性、デイサービス利用。前頭側頭型認知症

妻と二人暮らし。認知症発症前は比較的穏やかな性格であったが、徐々に介護する妻への暴言や暴力が増え、夫婦喧嘩が絶えない状況となっていた。デイサービス利用時も他利用者とトラブルになることが多い。ある日、同じテーブルで他の利用者数名とにこやかに話していたのだが、Aさんが突然一人で怒り出し、他の利用者に暴言を吐きながらテーブル上の容器をひっくり返すなどの行動があり、職員が慌てて静止しようとしたところ、職員を叩くなどの暴力も見られた。「暴力はいけませんよ！どうしてこんな事するんですか！？」と問い詰めたが、Aさんはますます怒りが激しくなってしまった。

1) 暴力・暴言の原因として考えられることは？認知症が及ぼす影響（中核症状）や心理面・身体面・環境面の影響など、原因として考えられることをあげてみましょう。

2) この職員の対応をどう思いますか？問題と思う点をあげてください。

3) あなたならどう対応しますか？適切な対応方法を考えてみましょう。

確認テスト 解説・解答例

- 1) 暴力・暴言の原因として考えられることは？認知症が及ぼす影響（中核症状）や心理面・身体面・環境面の影響など、原因として考えられることをあげてみましょう。
- 2) この職員の対応をどう思いますか？問題と思う点をあげてください。
- 3) あなたならどう対応しますか？適切な対応方法を考えてみましょう。

1)

① 認知症による影響

前頭側頭型認知症による中核症状（記憶障害・見当識障害・判断力理解力の低下・失行失認など）により、なぜ自分がここにいるのか、目の前の人是谁なのかなどがわからなくなったり、自分の感情や考えを言葉にできなくなっていることが考えられる。また前頭葉は、物事を考え、理性的な行動ができるように計画を立てる機能を持っているが、前頭葉が萎縮してしまうとその役割を果たせなくなってしまう。このことで感情が表出しやすくなっていると考えられる。

② 心理面や身体面、環境面の影響

- ・ 他の利用者から、自分の意見を軽視されるなど自尊心を傷つけられる言動があり、イライラして怒っている。
- ・ 自分の考えをうまく他の利用者に伝えることができず、「自分のことを誰も分かってくれない」とイライラして怒っている。
- ・ 身体面に不調（痛みやかゆさなど）があり、それをうまく言葉で表現することができずに暴言や暴力などの行為として表出している。
- ・ 他の利用者が話している内容が分からず、自分が仲間外れにされたと思い込んで怒っている。

など

2)

暴力や暴言が見られた際、「暴力はよくない」と理論的に説明しても受け入れてもらえることは少ない。余計に自尊心を傷つけてしまうこともある。また、「どうしてこんなことするのですか」など問い詰めたりすることも逆効果。暴言や暴力は、ケアする人にとっても精神的な負担が大きいBPSDであり、ついこちらまで感情的になって大声を出したり腹を立てたりしてしまうこともあるかもしれないが、これも認知症の症状だということを専門職として理解し、対応することが求められる。

3)

- ・ 怒ったり責めたりしない
- ・ 正論をふりかざして諭そうとしない
- ・ 大声を出さず、いつも通りの声で対応する
- ・ 一人で過ごせる環境を作るなど、落ち着いてもらうための時間を設ける

など

※ここにあげている対応方法はあくまで一例であり、「正解」ではありません。